



大野秀夫先生近影

献 呈 の 辞

大野秀夫先生は昭和49年10月に本学助教授（文理学部）として着任されて以来、昭和53年4月同教授、6月法文学部教授となられて今日に至った。その間20年にわたり、経済政策担当教官として研究と教育に精励され、学会および本学教育に貢献されてきた。また一方では、本学評議員、法文学部補導長、法学科代表・同教室主任をはじめ、数多くの委員会委員を歴任され、大学・学部運営にも寄与されてきた。学外にあっては、島根県労働問題懇話会委員、同収容委員会委員、同雇用開発協議会委員、労働省島根県地方職業安定審議会委員、通産省中国地域立地政策推進協議会委員などを任せられ、地域にも貢献されてきた。このたび定年により本学を退官されるにあたり、『経済科学論集』はここに記念号を編集して先生に献呈し、いささかの感謝の意を表するとともに、先生のご健勝と一層のご活躍を祈る次第である。

平成6年3月

島根大学法文学部長 川 本 謙 一